

フロンティアビジネス研究会のご紹介

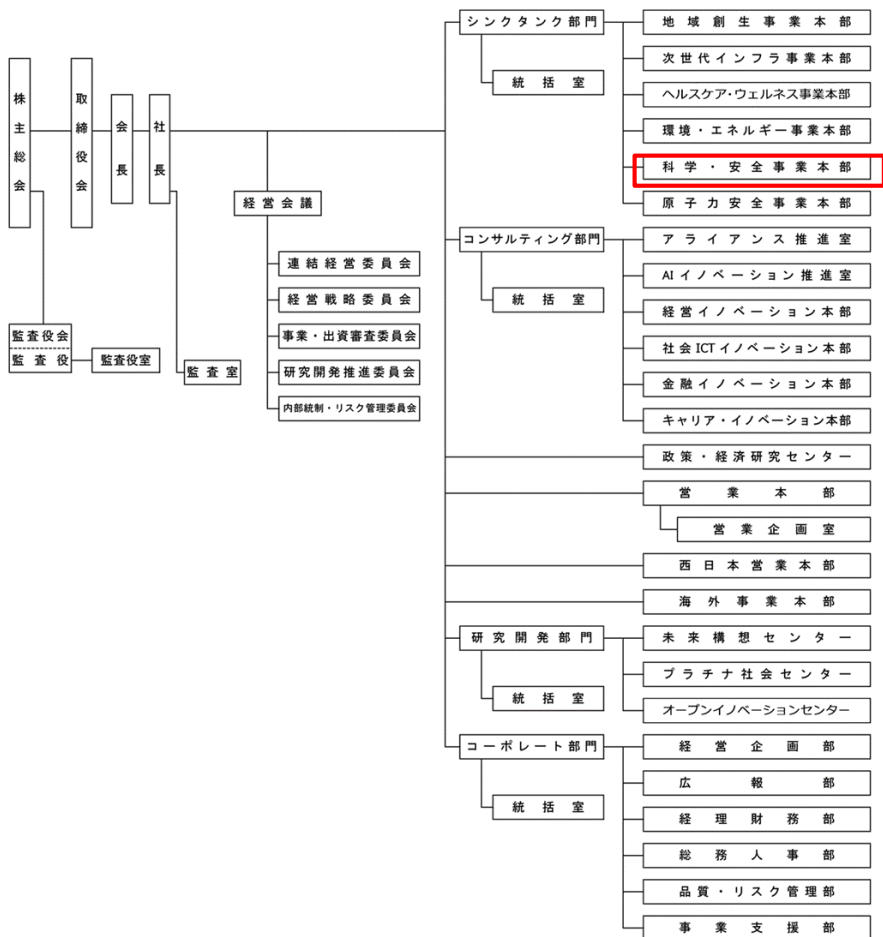
国際宇宙ステーション・国際宇宙探査小委員会

2019年2月6日

 **株式会社三菱総合研究所**
科学・安全事業本部 フロンティア戦略グループ

三菱総合研究所／フロンティア戦略グループ

三菱総合研究所



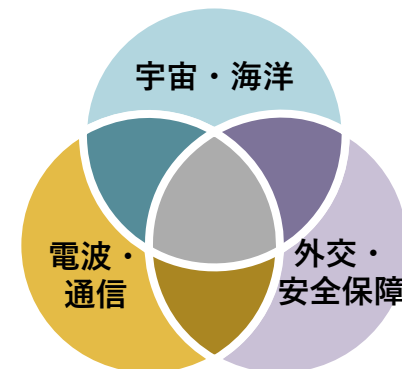
- 1970年の創業以来、「独立志向」、「学際志向」、「未来志向」、「政策志向」を企業理念として、常に時代を先取りし、企業活動や政策提言にかかわる様々なテーマについてコンサルティングや研究調査を実施
- 約700名の研究者を擁し、政策・経済分野、社会公共分野、科学技術分野、コンサルティング／情報システム分野など幅広い分野で社会に貢献

科学・安全事業本部

「科学技術の安全利用を推進し、科学技術と社会の共生を図る」ことを社会的使命とし、科学的アプローチにより、科学技術政策、技術開発・利用、科学技術の安全、宇宙開発・衛星利用、インテリジェンス、防災等の分野において社会やお客様に調査・研究及びコンサルティングサービスを提供

■ フロンティア戦略グループ

「宇宙・海洋」、「電波・通信」、「外交・安全保障」の3つの事業分野において、フロンティア技術利用の促進による社会への貢献と国家存立の基盤となる国家安全保障技術の強化を実施



30年以上

10件以上／年

10機関以上

フロンティアビジネス研究会について

フロンティアビジネス研究会とは

設立経緯

- 未来市場（月、月の近傍空間）における国内外での動きが活発に
- 産業界が主導して宇宙資源ビジネスの市場創出を目指すため、「株式会社三菱総合研究所」と「株式会社ispace」が発起人となり2016年末に設立

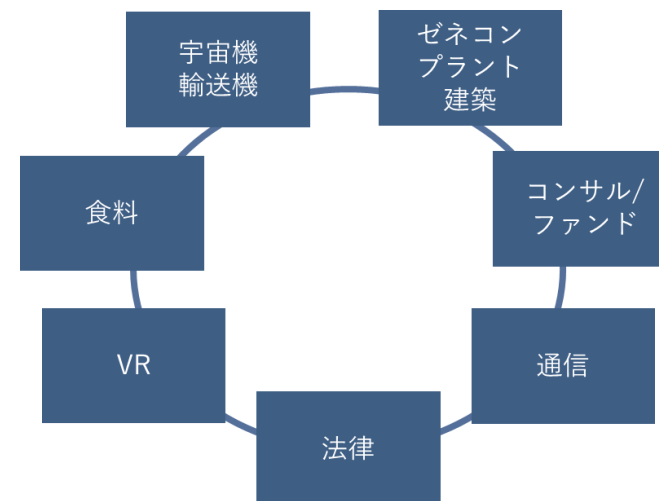
研究会の目標

- 月・Cis-Lunar経済圏の成立可能性と認知度の向上
（新規市場創造の可能性向上）
- 日本発の宇宙資源ビジネスの創出とエコシステムの構築
- 人類の活動圏／経済圏の拡大

フロンティアビジネス研究会 メンバー（50音順）

株式会社ispace
 株式会社蘆田暢人建築設計事務所
 株式会社大林組
 グリー株式会社
 KDDI株式会社
 コニカミノルタ株式会社
 シー・エス・ピー・ジャパン株式会社
 清水建設株式会社
 スカパーJSAT株式会社
 千代田化工建設株式会社
 凸版印刷株式会社
 西村あさひ法律事務所
 日揮株式会社

株式会社三菱総合研究所
 三菱重工業株式会社
 三菱電機株式会社
 株式会社ユーグレナ
 有人宇宙システム株式会社
 リアルテックファンド



- 国内の**多様な分野**の企業が参画（2018年11月時点で19社）
- 宇宙分野だけでなく**非宇宙分野企業**も将来（未来市場）の可能性に期待し参加

フロンティアビジネス研究会 活動実績

2016年・2017年

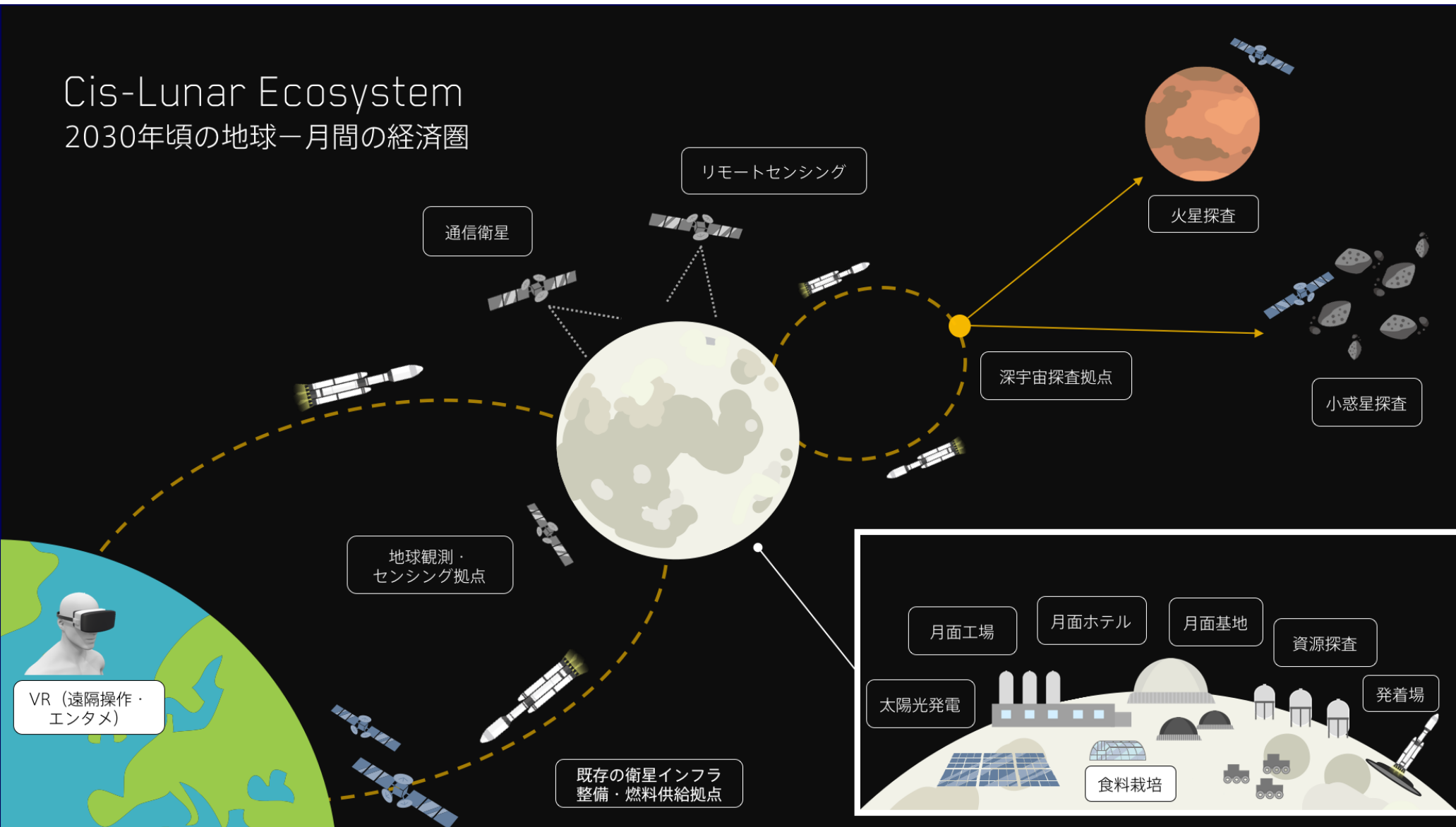
- 2016年12月、2017年3月、4月、5月、6月、9月、10月、12月の計8回開催
 - 各企業の既存研究内容の共有や今後の方向性について議論
 - **我々が目指すべき将来像（ビジョン）**を共同作成
- 2017年11月9日にシンポジウムを開催

2018年

- 全体研究会に加え、**5つのWG（居住、食料、資源、VR・遠隔、将来像検討）を設置し、各領域での具体的なビジネス展開**を検討
- 全体研究会は2018年2月、5月、7月、10月の計4回、各WGも4回程度ずつ開催
- 全体研究会では
 - 各分科会の活動報告およびその内容について議論
 - 横断的テーマ（法律等）や各企業の活動、政府の動向等について共有
- 2018年11月1日にシンポジウムを開催

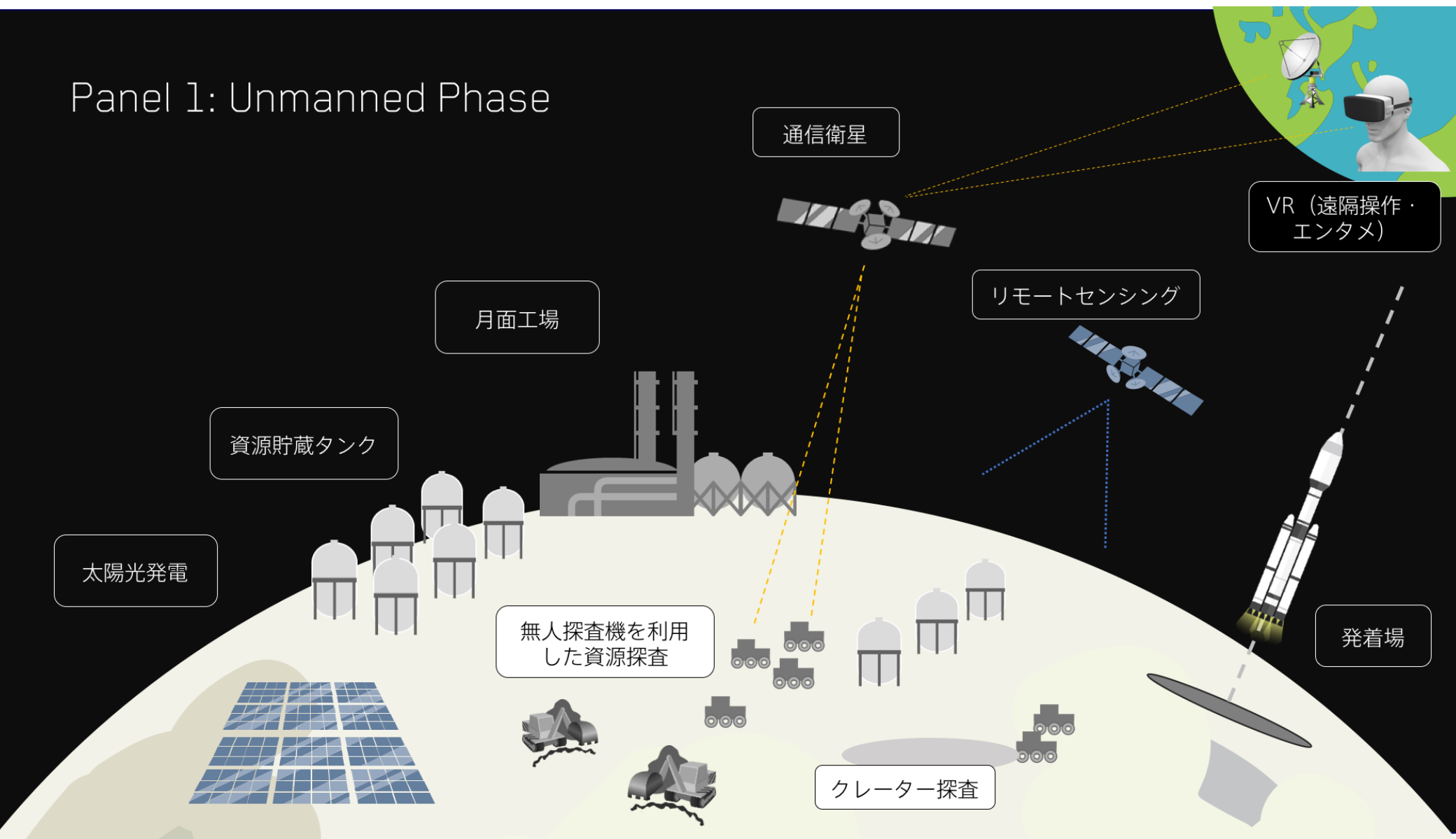
将来ビジョンイメージ：地球～月/Cis-Lunarの経済圏

Cis-Lunar Ecosystem 2030年頃の地球～月間の経済圏



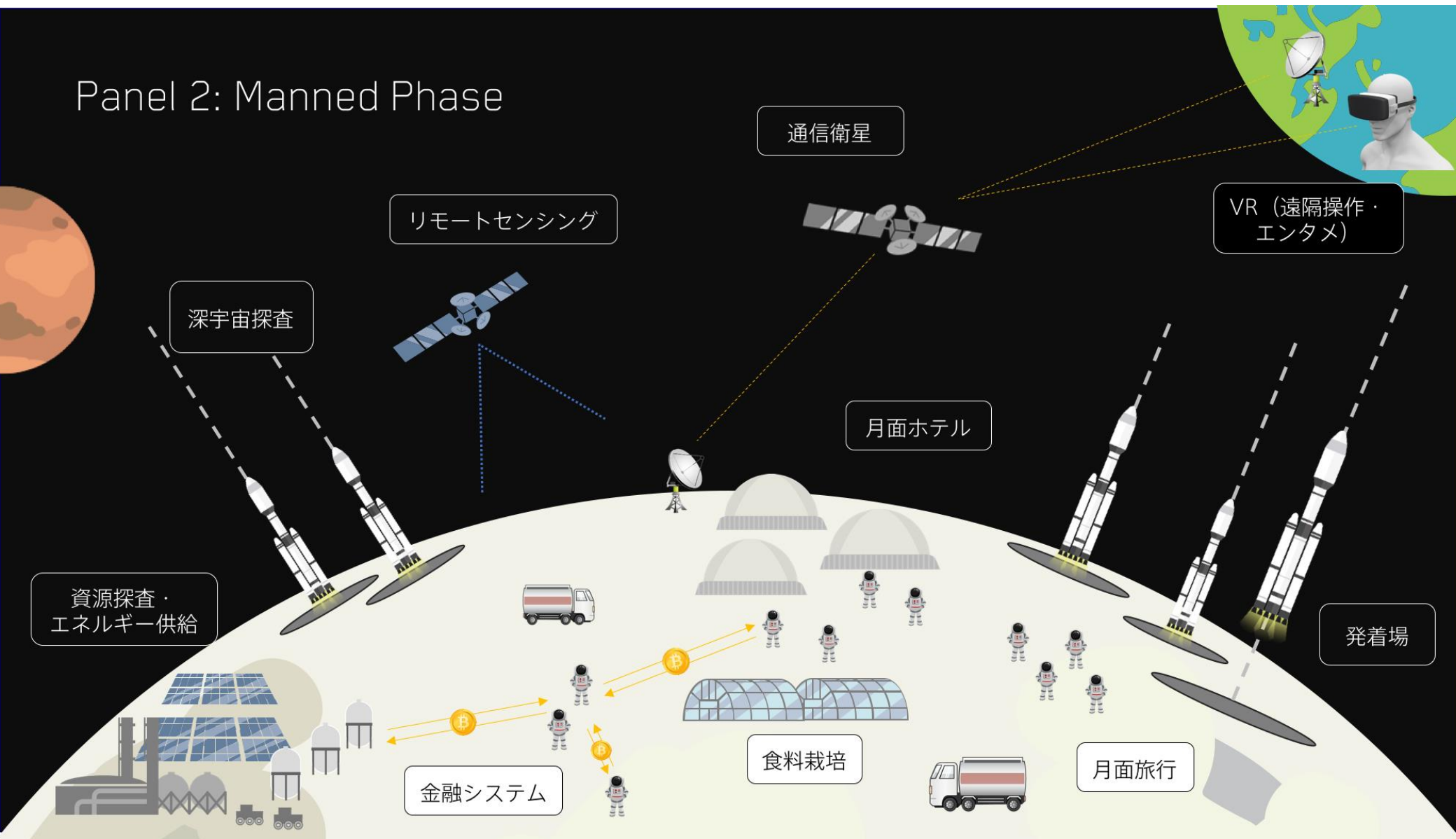
将来ビジョンイメージ：月面（無人期）

Panel 1: Unmanned Phase

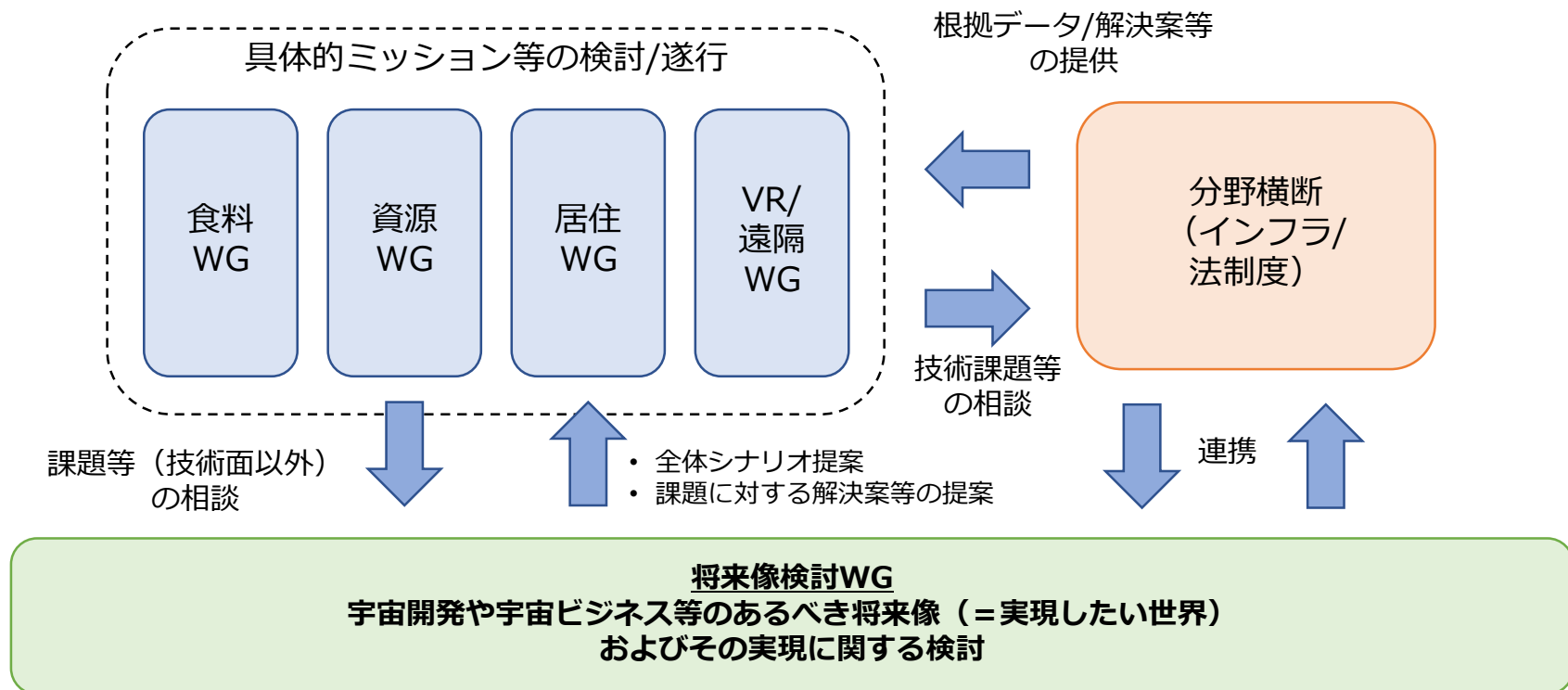


将来ビジョンイメージ：月面（有人期）

Panel 2: Manned Phase



WGによるミッションの検討・遂行



各WGではリーダーが議論をけん引、参加企業は積極的にコミット

『宇宙開発の未来共創』シンポジウム (2018/11)



参加者約150名と大盛況



懇親会も約70名参加

フロンティアビジネス研究会 公開シンポジウム
宇宙開発の未来共創 2018
 民間主導の月資源ビジネスエコシステム

月、月の近傍空間（Cis-Lunar空間）、そして火星へと向かう宇宙開発は、中長期的に発展が見込まれる「未来」市場として、国内外での動きが活発になりつつあります。

株式会社三菱総合研究所および株式会社ispaceでは、世界の潮流に遅れることなく主導的な役割を担うことを目指して、昨年末に協力を記載の企業とともに「フロンティアビジネス研究会」を立ち上げました。

宇宙資源開発に関わる最新動向や、フロンティアビジネス研究会のこれまでの活動成果と今後のビジョンを、民間企業や政府・研究機関関係者を含む幅広い方々に知っていただくため、公開シンポジウム「宇宙開発の未来共創2018 ～民間主導の月資源ビジネスエコシステム～」を開催いたします。

■日時 2018年11月1日(木) 13:30～18:30 (開場 13:00)

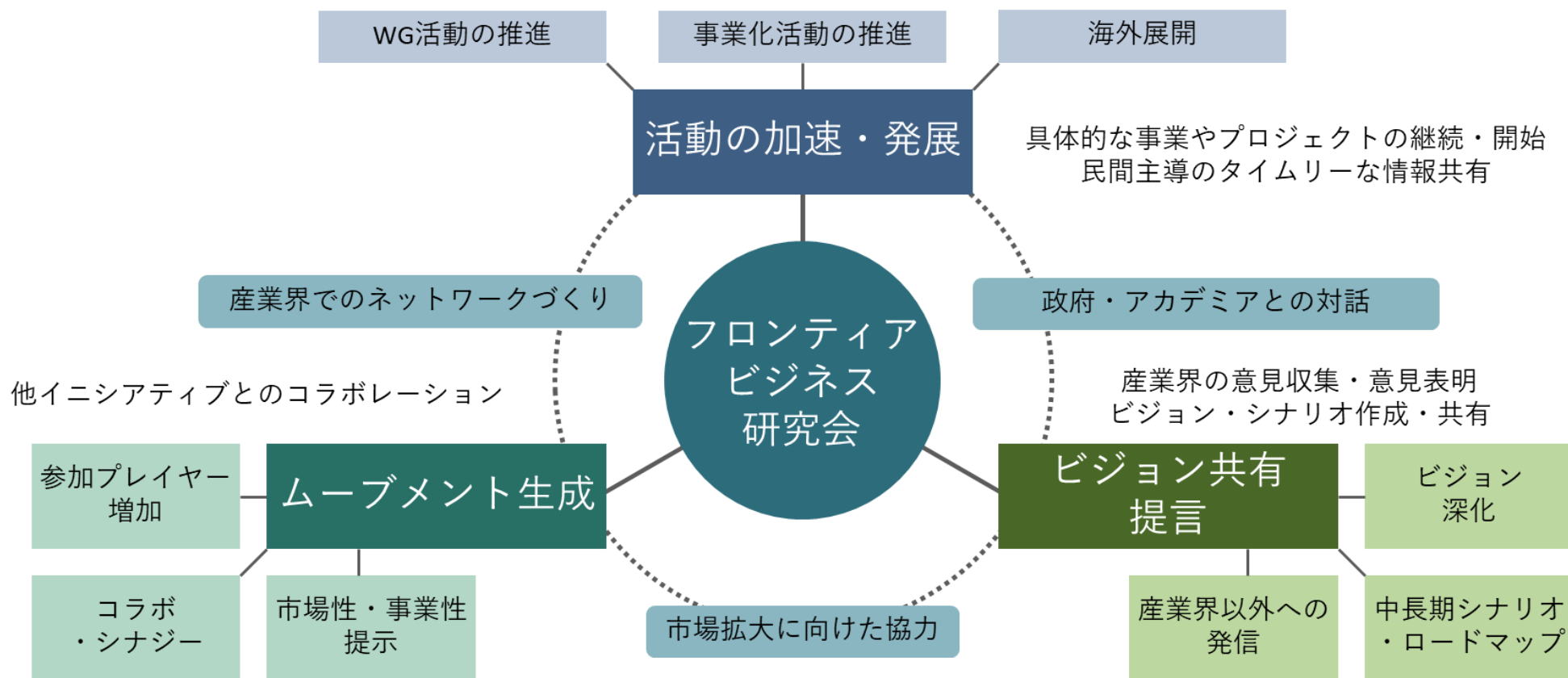
■会場 株式会社三菱総合研究所 4階 大会議室
東京都千代田区永田町二丁目10番3号 東都キャピタルタワー内 受付：地下1階

■主催 株式会社三菱総合研究所 株式会社ispace

■協力 株式会社蘆田暢人建築設計事務所、株式会社大林組、グリー株式会社、KDDI株式会社、コニカミノルタ株式会社、シー・エス・ビー・ジャパン株式会社、清水建設株式会社、スカパーJSAT株式会社、千代田化工建設株式会社、凸版印刷株式会社、西村あさひ法律事務所、日揮株式会社、三菱重工株式会社、三菱電機株式会社、株式会社ユーグレナ、有人宇宙システム株式会社、リアルテックファンド (50音順)

◎お問合せ 株式会社三菱総合研究所 科学・安全事業本部 フロンティア戦略グループ 山中、田中、内田

フロンティアビジネス研究会 今後の展望



民間主導の月資源ビジネスエコシステム創造へ向け
次のステップへ飛躍します

最後に

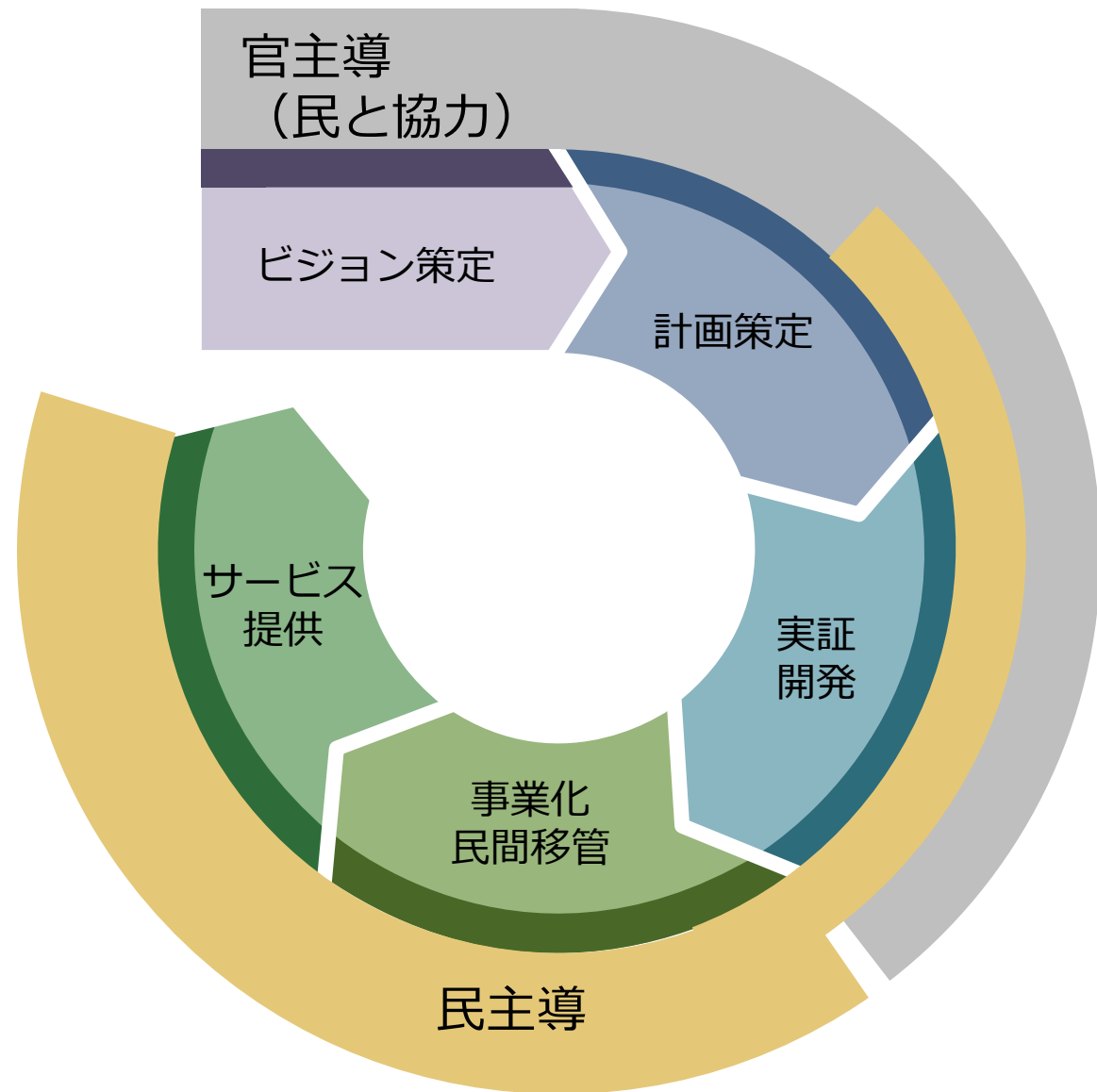
早期からの民間との協力により
事業フェーズを見据えた
計画策定や実証

持続可能な開発とするとともに
新規産業／市場を日本企業が獲得
(ルールが決まる前が勝負)

企業の活動にはインフラが必要
官は開発リスク、民は事業リスク

その他、期待したい視点：

- 民間企業とのシナジーが見込まれる（日本企業がマーケットをとれる）分野・領域
- 新規参入を促進する方策（実績主義からの脱却、プログラムの大型化、ステージゲート制等）
- 民間の創意工夫がいかせる方策の導入（例：サービス調達）



本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 三菱総合研究所
海外事業本部 兼
科学・安全事業本部 フロンティア戦略グループ
[担当] 内田 敦 a-uchida@mri.co.jp
TEL : 03 - 6705 - 6039
FAX : 03 - 5157 - 2145
